

**臨時展示**

# 新発見史料の紹介

## ～タイタニック号沈没事故関連文書～

1912（明治45）年4月15日、イギリス・サウサンプトン発アメリカ合衆国・ニューヨーク行き的大型客船タイタニック号が、北大西洋上で沈没する海難事故が発生しました。当時世界最大の客船であったタイタニック号は、前日の23時40分に冰山に衝突し、事故発生から2時間40分後の翌15日の2時20分に沈没、1514人が亡くなり、710人が生還しました。これは当時、世界の海難事故の最大死者数でした。1958（昭和33）年と1997（平成9）年にはこの出来事をテーマとした映画が公開されるなど世界的に関心の高い事故です。

今回は、閲覧公開に向けての目録作成中に発見されたタイタニック号沈没事故の関連文書を展示します。発見された文書は、アメリカ合衆国ニューヨーク市に在留していた碓氷郡磯部村（現安中市磯部）出身の須藤元吉から同郷の中嶋拓造宛てに出された書簡で、事故の概要が詳述されています。現地在留の日本人が入手した情報を即時に本県在住の知人に伝えた大変貴重な史料です。また、書簡には当時のアメリカ大統領選挙についての情報なども記載されており、20世紀初頭の世界情勢を知る上でも大変興味深い史料です。